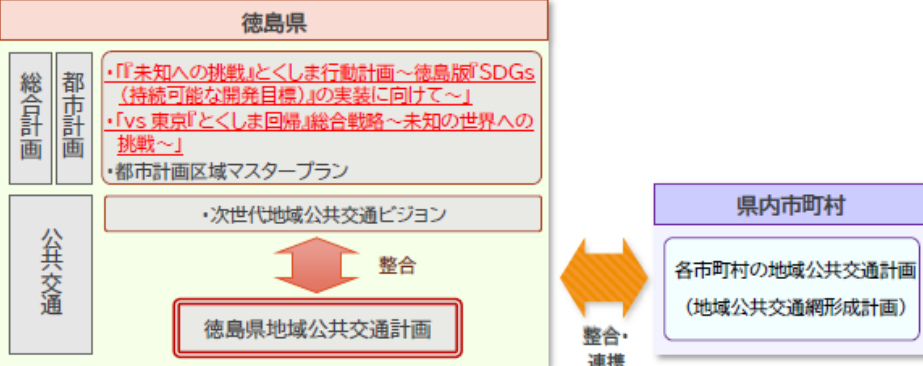


徳島県地域公共交通計画変更（案）

該当	新（修正後）	旧（修正前）
P2	第1章 はじめに （中略） （4）計画の位置づけ 本計画は、本県の総合計画である「<u>徳島新未来創生総合計画</u>」、都市計画である「都市計画区域マスタープラン」、公共交通の最適化に向けた基本的な方向性を示した「次世代地域公共交通ビジョン」を上位計画として、整合を図る。 （中略）  図 1.1 計画の位置づけ	第1章 はじめに （中略） （4）計画の位置づけ 本計画は、本県の総合計画である「<u>『未知への挑戦』とくしま行動計画</u>」、<u>『vs 東京』とくしま回帰』総合戦略</u>」、都市計画である「都市計画区域マスタープラン」、公共交通の最適化に向けた基本的な方向性を示した「次世代地域公共交通ビジョン」を上位計画として、整合を図る。 （中略）  図 1.1 計画の位置づけ

第4章 上位・関連計画

(1) 県の計画

1)「徳島新未来創生総合計画」(令和6年度版、令和6年3月)

- 「徳島新未来創生総合計画」では、基本理念として、「未来に引き継げる徳島」の実現を掲げ、「ずっと居りたい」「いつも帰りたい」「みんな行きたい」と感じていただける徳島県を目指すこととしている。
- このビジョンの実現に向けて、「安心度UP」「魅力度UP」「透明度UP」というミッションを達成するため17の戦略を掲げており、戦略「国内外から選ばれる魅力的な地域づくり」に公共交通に関する取組が位置付けられている。

ミッション	戦略(ミッションを達成するための政策群)
安心度UP	1 徳島新未来創生に向けた教育再生
	2 一人ひとりが自分らしく輝ける社会づくり
	3 切れ目のない子育て支援をはじめとした「こどももんなが社会」の実現
	4 グリーン社会の構築
	5 健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実
	6 危機管理体制の充実と県土強靱化(レジリエンス)の推進
	7 県民生活の安全・安心確保
魅力度UP	8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～
	9 文化芸術の振興
	10 スポーツ立県の推進
	11 攻めの農林水産業
	12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生
	13 労働力・後継者不足対策の推進
	14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり
透明度UP	15 開かれた県政運営の推進
	16 時代のニーズに対応する県政運営体制
	17 持続可能な財政運営の推進

出典:新未来創生総合計画

(令和6年度版、令和6年3月)

第4章 上位・関連計画

(1) 県の計画

1)「徳島新『未知への挑戦』とくしま行動計画～徳島版『SDGs(持続可能な開発目標)』の実装に向けて～」(令和3年度版、令和3年3月)

- 「『未知への挑戦』とくしま行動計画」では、21の目指すべき方向性が掲げられており、公共交通に関する取組としては、『地方創生先導』として「次世代型の公共交通とまちづくり」、『近未来創造』として「夢と希望の新交通ネットワークの構築」が位置付けられている。

●目指すべき方向性

I 「安全実感！ 無難とくしま」の実現	II 「多様性実感！ 共生とくしま」の実現	III 「魅力実感！ 輝きとくしま」の実現
1 地方創生先導 ・とくしまづくり	1 未来人材育成 ・とくしまづくり	1 誘客万策 ・とくしまづくり
2 笑顔で子育て ・とくしまづくり	2 誰もが活躍 ・とくしまづくり	2 近未来創造 ・とくしまづくり
3 安全強靱 ・とくしまづくり	3 広がるダイバーシティ ・とくしまづくり	3 あわ文化創造 ・とくしまづくり
4 健康長寿 ・とくしまづくり	4 革新実装 ・とくしまづくり	4 スポーツ王国 ・とくしまづくり
5 ぐら安心 ・とくしまづくり	5 ブランド進化 ・とくしまづくり	5 障がい者カールスポ ・とくしまづくり
6 観光実装 ・とくしまづくり	6 経済好循環 ・とくしまづくり	6 スポーツレガシー ・とくしまづくり
7 循環共生 ・とくしまづくり	7 いきいき働く ・とくしまづくり	7 文化レガシー ・とくしまづくり

<目指すべき10年程度先(2030年頃)の姿>

次世代型の公共交通とまちづくり

- ◆ 人口減少・高齢化が進むなか、公共交通と連携し、快適で効率的な生活環境を重視した、持続可能な市街地の形成が図られています。
- ◆ 次世代地域公共交通ビジョン[※]を羅針盤とし、県内の様々な地域において、交通資源が最適化され、既存の鉄道などと密接に連携したバス路線、世界初の本格営業運行となるDMV[※]や自動運転など多様な移動手段の連携による交通ネットワークが構築されています。
- ◆ 誰もが利用しやすく、乗り継ぎしやすい環境が整備され、スムーズに移動できることで公共交通の利用者が増加し、利便性が向上していく好循環が生み出されています。

<目指すべき10年程度先(2030年頃)の姿>

夢と希望の新交通ネットワークの構築

- ◆ 東京2020オリンピック・パラリンピックなどの機会を通じ、本県の魅力は国内外へと広く発信され、2025年大阪・関西万博の開催によって、さらに発信力が上がっています。
- ◆ 大阪・関西万博を契機として、本県と関西を結ぶ高速交通ネットワークの充実が図られ、大阪湾ベイエリアはもとより、関西圏から首都圏へ跨る巨大都市圏「スーパーメカリージョン」にも直結し、インバウンドをはじめ、人・モノ・資金・情報が世界から関西、そして徳島へと大きく対流しています。
- ◆ 鉄路と道路をシームレスに走行し、車両自体が観光資源となるDMVの運行により利用者にとってさらに利便性の高い地域公共交通ネットワークが形成されるとともに、新たな人の流れが生まれ、地域が活性化しています。

出典:「未知への挑戦」とくしま行動計

画(令和3年度版、令和3年3月)

戦略
1.4

国内外から選ばれる魅力的な地域づくり



目指すべき将来の姿

- 県内の様々な地域において、最適化された多様な移動手段が連携され、利便性の向上と利用促進の好循環が生み出す持続可能な公共交通ネットワークが構築されています。

課題と現状分析

- バスや鉄道等の地域公共交通は、人口減少に加え、コロナ禍における在宅勤務・WEB会議の進展による利用者の減少、施設の老朽化、運転手不足の深刻化などにより、維持・存続が困難になっています。

KPI（重要業績評価指標）

幹線系統バスの利用者数（走行台キロ当たり）

（出典：徳島県調べ）

2022年度実績

0.34人/km

2028年度目標

0.39人/km

指標の説明

バスの走行台キロ当たりの利用者数
公共交通の最適化や利便性の向上、利用促進による公共交通の持続可能性を「輸送効率面」から捉えるため、この指標を設定

設定の考え方／得られる成果

新型コロナウイルス等による利用低迷からの回復を目指し、2019年度の水準を目標とし、本県の人口減少率9%を乗じて目標値を設定
この目標達成により、「持続可能な公共交通の実現」に寄与

施策の方向性と実現に向けた工程表

⑤ ストレスフリーな公共交通

- 関係者の役割分担と連携により、モーダルミックス[®]やMaaS[®]構築、県内各駅へのアクセス向上等、公共交通の最適化や利便性向上、利用促進を図り、地域公共交通の維持・存続に取り組みます。
- 大阪・関西万博開催を好機と捉え、インバウンド需要を逃すことなく取り込むため、外国人に人気のある「DMV[®]」と連携するなど、地域公共交通の利用促進に取り組みます。

具体的な取組	2024	2025	2026	2027	2028
公共交通ネットワークの充実					
公共交通の利用促進に向けた新たな需要の創出					

出典：新未来創生総合計画（令和6年度版、令和6年3月）

2)『vs 東京』とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～」（2021 改定版、令和3年3月）

- 「vs 東京』とくしま回帰』総合戦略」では、基本目標4「安全・安心『持続可能な社会』づくり」における施策として「持続可能な地域公共交通とまちづくり」、KPI（成果指標）として「地域における公共交通に関する計画策定数」などが位置付けられている。



【基本目標4】安全・安心「持続可能な社会」づくり

目 標 ◆「Society5.0」の実現に向けた取組件数 5年間で25事例

- (ア) DXの推進・「Society5.0」の実装
- ① 未来技術活用「徳島モデル」の創出
 - ② 未来技術活用「徳島経済」の飛躍
- (イ) グリーン社会の実現・「SDGs徳島モデル」の実装
- ① 「脱炭素社会」の実現
 - ② 「未来エネルギー」の実装
 - ③ 自然との共生「生物多様性とくしま」の展開
 - ④ 「つくる責任つかう責任」エシカル消費の更なる普及拡大
- (ウ) 全世代・全員活躍「ダイバーシティとくしま」の実現
- ① 「男女共同参画立県とくしま」の飛躍
 - ② 人生100年時代「健康寿命先進県」の実現
 - ③ 障がい者の自立と社会参加の促進
 - ④ 外国人が「暮らしやすい・活躍できる」社会の実現
- (エ) 安全・安心を実感！「皆が笑顔で暮らせる」社会づくり
- ① 健康で自分らしい生活がおくれる暮らしの充実
 - ② 世界へ発信！消費者の「安全・安心」を守る社会の実現
 - ③ 課題解決をリードする先進地域づくり
- (オ) 地方創生の礎「強靱とくしま」の実現
- ① 未知なる災害を迎え撃つ「事前復興」の推進
 - ② 強さとしなやかさを備えた「県土づくり」の推進

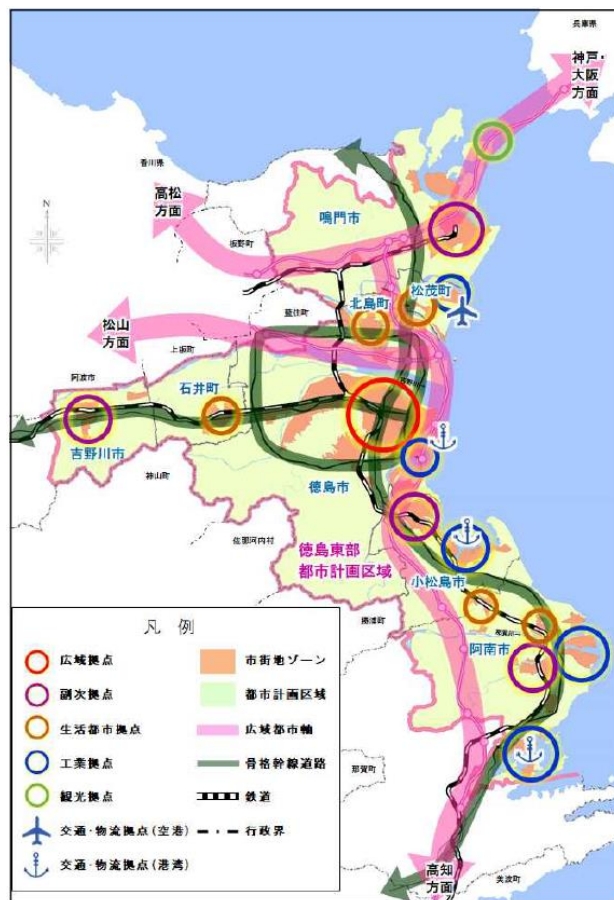
公共交通に関する施策とKPI(成果指標)

施策	■ 持続可能な地域公共交通とまちづくり
KPI (2024年)	■ 地域公共交通網形成計画など地域における公共交通に関する計画策定数 (累計)：6地域（2018年時点で3地域） ■ 阿佐東線へのDMV導入

出典：『vs 東京』とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～」（2021年改訂版（令和3年3月））

2) 都市計画区域マスタープラン

- 都市計画の基本的な方針を広域的見地から定めた都市計画区域マスタープランが、県内7つの都市計画区域を対象に策定されている。
- 徳島東部都市計画区域では、従来の拡大・拡散型を転換した『地方創生拠点連携型』の都市づくりが掲げられており、公共交通にはコンパクト・プラス・ネットワークとして、拠点間等の連携を強化する役割が求められる。



出典: 徳島東部都市計画区域マスタープラン(令和5年3月)

図4.1 徳島東部都市計画区域の都市構造図

3) 都市計画区域マスタープラン

- 都市計画の基本的な方針を広域的見地から定めた都市計画区域マスタープランが、県内7つの都市計画区域を対象に策定されている。
- 徳島東部都市計画区域では、従来の拡大・拡散型を転換した『地方創生拠点連携型』の都市づくりが掲げられており、公共交通にはコンパクト・プラス・ネットワークとして、拠点間等の連携を強化する役割が求められる。



出典: 徳島東部都市計画区域マスタープラン(平成30年3月)

図4.1 徳島東部都市計画区域の将来都市構造図

P40	<u>3)</u>次世代地域公共交通ビジョン（令和元年 12 月） （略）	<u>4)</u>次世代地域公共交通ビジョン（令和元年 12 月） （略）																		
P48	（２）市町村の公共交通計画 （中略） 表 4.1 県内市町村において策定済の地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画） <table> <tr> <th>市町村</th><th>計画名称</th><th>将来像、基本方針等</th></tr> <tr> <td>徳島市</td><td>徳島市<u>地域公共交通計画</u> <u>（令和 6 年 3 月）</u></td><td><u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u></td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr> </table>	市町村	計画名称	将来像、基本方針等	徳島市	徳島市 <u>地域公共交通計画</u> <u>（令和 6 年 3 月）</u>	<u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u>	（略）	（略）	（略）	（２）市町村の公共交通計画 （中略） 表 4.1 県内市町村において策定済の地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画） <table> <tr> <th>市町村</th><th>計画名称</th><th>将来像、基本方針等</th></tr> <tr> <td>徳島市</td><td>徳島市<u>地域公共交通網形成計画</u> <u>（令和 2 年 3 月）</u></td><td><u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通 ～</u></td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr> </table>	市町村	計画名称	将来像、基本方針等	徳島市	徳島市 <u>地域公共交通網形成計画</u> <u>（令和 2 年 3 月）</u>	<u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通 ～</u>	（略）	（略）	（略）
市町村	計画名称	将来像、基本方針等																		
徳島市	徳島市 <u>地域公共交通計画</u> <u>（令和 6 年 3 月）</u>	<u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u>																		
（略）	（略）	（略）																		
市町村	計画名称	将来像、基本方針等																		
徳島市	徳島市 <u>地域公共交通網形成計画</u> <u>（令和 2 年 3 月）</u>	<u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通 ～</u>																		
（略）	（略）	（略）																		
P50	第 5 章 公共交通に関する課題 （中略） 第 4 章 上位・関連計画 ■ 県の計画 ・『<u>国内外から選ばれる魅力的な地域づくり</u>』に向け、<u>ストレスフリーな公共交通に向けた取組が位置付け</u> ・『地方創生拠点連携型』都市づくりに向け、コンパクト・プラス・ネットワークが求められる。 ・次世代地域公共交通ビジョンの 3 つの柱は、「公共交通の最適化」、「利便性の向上」、「利用促進」 ■ 市町村の公共交通計画 ・県内 5 市町村において、地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画）を策定済 ・将来像や基本方針等のキーワードは、『利便性と持続可能性（効率性）の両立』、『<u>関係者（みんな）の協働</u>』、『誰もが安心して利用できる』、『コンパクトシティ』、『<u>多様な交通サービスの組み合わせと役割分担</u>』等	第 5 章 公共交通に関する課題 （中略） 第 4 章 上位・関連計画 ■ 県の計画 ・『<u>地方創生先導</u>』、『<u>近未来創造</u>』に向け、公共交通に関する取組が位置付け ・『<u>安全・安心「持続可能な社会」づくり</u>』において、『<u>持続可能な地域公共交通とまちづくり</u>』が位置付け ・『地方創生拠点連携型』都市づくりに向け、コンパクト・プラス・ネットワークが求められる。 ・次世代地域公共交通ビジョンの 3 つの柱は、「公共交通の最適化」、「利便性の向上」、「利用促進」 ■ 市町村の公共交通計画 ・県内 5 市町村において、地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画）を策定済 ・将来像や基本方針等のキーワードは、『利便性と持続可能性（効率性）の両立』、『<u>関係者（みんな）の協働</u>』、『誰もが安心して利用できる』、『コンパクトシティ』、『<u>多様な交通サービスの組み合わせと役割分担</u>』等																		

第6章 計画の基本方針と目標

(1) 計画の基本方針

(中略)

上位計画における記載内容

徳島新 未来創 生総合 計画	目指すべき将来の姿 ■ 県内の様々な地域において、最適化された多様な移動手段が連携され、利便性の向上と利用促進の好循環が生まれ出す持続可能な公共交通ネットワークが構築されています。
都市計 画区域 マスター プラン	■ 公共交通に求められる役割 コンパクト・プラス・ネットワークとして、拠点間等の連携を強化
次世代 地域公 共交通 ビジョン	■ ビジョンが目指す3つの柱 1.公共交通の最適化 2.利便性の向上 3.利用促進

第6章 計画の基本方針と目標

(1) 計画の基本方針

(中略)

上位計画における記載内容

『未知への挑戦』 とくしま行動計画	＜目指すべき10年程度先（2030年頃）の姿＞ 次世代型の公共交通とまちづくり ◆ 人口減少・高齢化が進むなか、公共交通と連携し、快適で効率的な生活環境を重視した、持続可能な市街地の形成が図られています。 ◆ 次世代地域公共交通ビジョン®を羅針盤とし、県内の様々な地域において、交通資源が最適化され、既存の鉄道などと密接に連携したバス路線、世界初の本格営業運行となるHIVや自動運転など多様な移動手段の連携による交通ネットワークが構築されています。 ◆ 誰もが利用しやすく、乗り継ぎしやすい環境が整備され、スムーズに移動できることで公共交通の利用者が増加し、利便性が向上していく好循環が生まれています。
『vs 東京 『とくしま回帰』総 合戦略	【基本目標1】 「未来を担うひとの流れ」づくり 【基本目標2】 地域を支える「魅力的なしごと」づくり 【基本目標3】 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり 【基本目標4】 安全・安心「持続可能な社会」づくり
都市計画区域 マスタープラン	■ 公共交通に求められる役割 コンパクト・プラス・ネットワークとして、拠点間等の連携を強化
次世代地域公共 交通ビジョン	■ ビジョンが目指す3つの柱 1.公共交通の最適化 2.利便性の向上 3.利用促進

P81	第7章 目標達成のための事業 (中略) 事業⑥-3：地域公共交通計画策定の推進 (中略) ▼県内市町村において策定済みの地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画） <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th><th>計画名称（策定年）</th><th>将来像、基本方針等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳島市</td><td>徳島市<u>地域公共交通計画（令和6年3月）</u></td><td><u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u></td></tr> <tr> <td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr> </tbody> </table>	市町村	計画名称（策定年）	将来像、基本方針等	徳島市	徳島市 <u>地域公共交通計画（令和6年3月）</u>	<u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u>	(略)	(略)	(略)	第7章 目標達成のための事業 (中略) 事業⑥-3：地域公共交通計画策定の推進 (中略) ▼県内市町村において策定済みの地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画） <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th><th>計画名称（策定年）</th><th>将来像、基本方針等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳島市</td><td>徳島市<u>地域公共交通網形成計画（令和2年3月）</u></td><td><u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通～</u></td></tr> <tr> <td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr> </tbody> </table>	市町村	計画名称（策定年）	将来像、基本方針等	徳島市	徳島市 <u>地域公共交通網形成計画（令和2年3月）</u>	<u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通～</u>	(略)	(略)	(略)
市町村	計画名称（策定年）	将来像、基本方針等																		
徳島市	徳島市 <u>地域公共交通計画（令和6年3月）</u>	<u>世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築</u>																		
(略)	(略)	(略)																		
市町村	計画名称（策定年）	将来像、基本方針等																		
徳島市	徳島市 <u>地域公共交通網形成計画（令和2年3月）</u>	<u>将来にわたって、便利で持続可能な公共交通ネットワークの再構築～ひと・まち・くらしを支える・つなぐ みんなでつくり・まもり・そだてる公共交通～</u>																		
(略)	(略)	(略)																		

【参考】幹線系統バス運行路線の変更(令和6年10月1日以降)

資料 4

方面	No	路線	起点	主な経由地	終点
鳴門市・松茂町・北島町	1	鳴門公園線	徳島駅前	大塚国際美術館前	鳴門公園
	2	鳴門下板線	徳島駅前	大松東・東発・教育大	ウチノ海
	3	鳴門下板線	徳島駅前	老門・空港・東発	ウチノ海
	4	鳴門下板線	徳島駅前	老門・東発	ボートレース鳴門
			徳島駅前	老門・免許センター前・東発	ボートレース鳴門
	5	鳴門上板線	徳島駅前	フジグラン北島・立道	ボートレース鳴門
・北島町・板野町・藍住町・板野町	6	鳴門公園線	徳島駅前	大松東・松茂・空港	鳴門公園
	7	グリーンタウン線	徳島駅前	フジグラン北島・グリーンタウン	吉野川病院
	8	鍛冶屋原線	徳島駅前	フジグラン北島・板野	鍛冶屋原
	9	名田橋線	徳島駅前	不動・ゆめタウン・板野	鍛冶屋原
	10	名田橋線	徳島駅前	不動・ゆめタウン・板野・あすたむらんど	鍛冶屋原
	11	北島藍住線	徳島駅前	フジグラン北島・藍住役場	ゆめタウン
石井町・吉野川市・神山町・佐那河内村	12	応神藍住線	徳島駅前	前川・応神・ゆめタウン	道の駅いたの
	13	竜王団地線	徳島駅前	日開・竜王団地	フジグラン石井
	14	竜王団地線	徳島駅前	不動・竜王団地	フジグラン石井
	15	石井上板線	徳島駅前	石井・フジグラン石井・イオンタウン	鍛冶屋原
	16 15	鴨島線	徳島駅前	浦庄	西麻植
			徳島駅前	浦庄・曽我団地	西麻植
	17 16	高原線	徳島駅前	フジグラン石井・高原	平島東
	18 17	神山線	徳島駅前	延命・オロノ	神山高校前
	19 18	神山線	徳島駅前	石井・阿川	神山高校前
	20 19	佐那河内線	徳島駅前	大木南・中辺	神山高校前
・小松島市・阿南町	21 20	勝浦線	徳島駅前	長柱	横瀬西
	22 21	あいさい線	徳島駅前	バイパス イオンモール徳島・新浜・日赤病院	あいさい広場
	23 22	橘線	徳島駅前	小松島	橘西
	24 23	丹生谷線	阿南医療センター	阿南駅・橘営業所	川口
西部地域	25	井内線	阿波池田BT	辻駅前	馬場
	26 24	祖谷線	阿波池田BT 三好病院玄関前	大歩危駅前	久保 かずら橋夢舞台